

御 嶽 山

○概況（平成 18 年 7 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○地震及び微動の発生状況

御嶽山付近を震源とする地震は観測されず、静穏に経過しました（図 1）。

火山性微動は観測されませんでした。

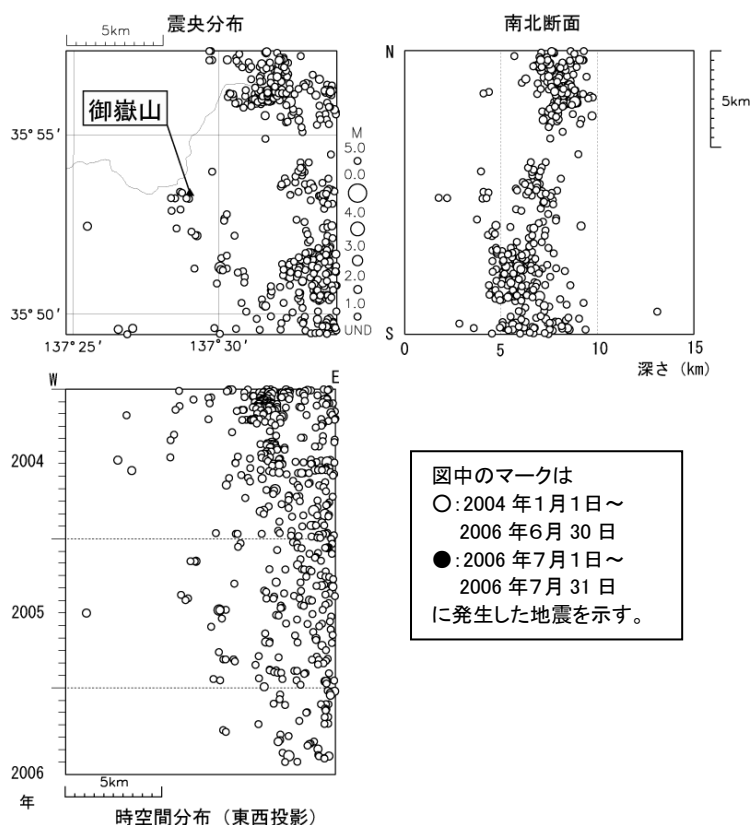


図 1※ 御嶽山 山体及びその周辺の地震活動
（2004 年 1 月 1 日～2006 年 7 月 31 日）

マグニチュード（M）は地震の規模を表します。資料中の M は暫定値で、後日変更することがあります。

○地殻変動の状況

G P S 連続観測では、火山活動によるとみられる変化は認められませんでした（図 2）。

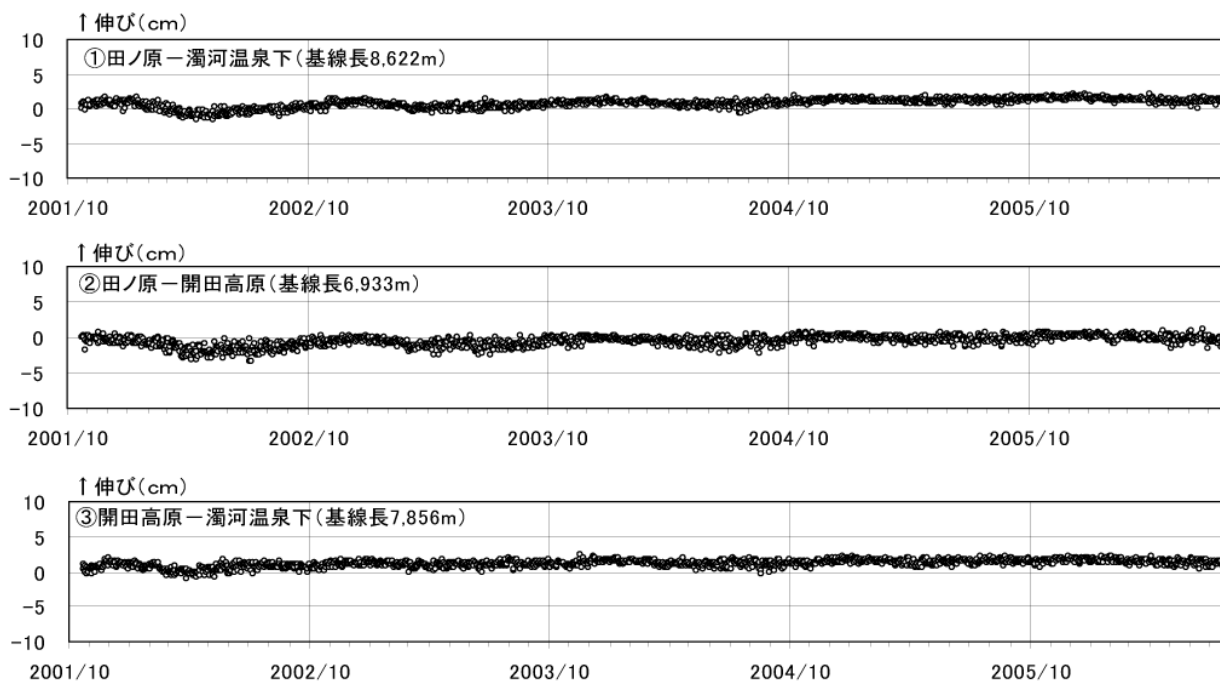


図 2 御嶽山 G P S 連続観測による基線長変化（2001 年 10 月 23 日～2006 年 7 月 31 日）
基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

※この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政区・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

○噴煙の状況

三岳黒沢（王滝頂上の南東約14km）に設置した遠望カメラでは、王滝頂上付近及び地獄谷からの噴煙は観測されませんでした（図3、図4）。

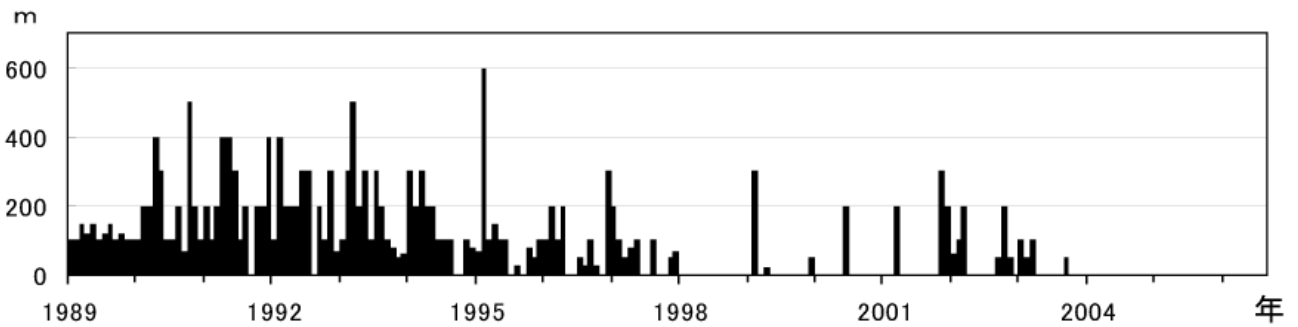


図3 御嶽山 定時観測（09時・16時）による月別最大噴煙高度（1989年1月～2006年7月）



図4 御嶽山 山頂部の状況（7月4日、三岳黒沢遠望カメラによる）

○観測点情報

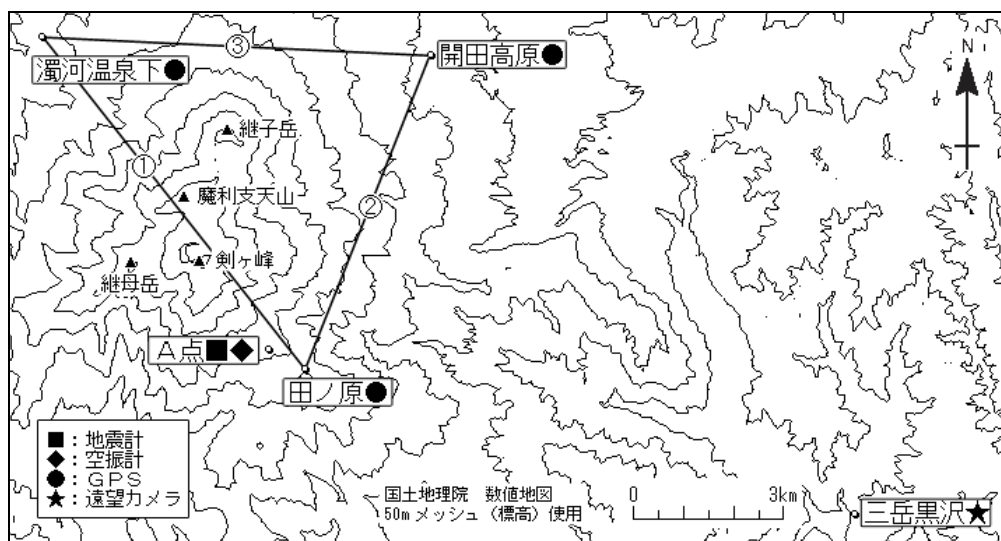


図5 御嶽山 気象庁の観測点配置図（図中の小さな白丸は観測点位置を示しています）